

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	保育内容総論
<b>科目基礎情報</b>				
開設学科	こども学科	コース名		開設期 前期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数 15時間
単位数	1単位	授業形態	演習	
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。			
<b>担当教員情報</b>				
担当教員	仁科伍浩	実務経験の有無・職種	有・小学校教諭	
<b>学習目的</b>				
幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領における保育の基本と構造を理解し、保育内容5領域を総合的に捉え、子どもの発達や実態に即した保育の展開を理解する。あわせて、子ども理解を深め保育力を高める観察と、記録・保育計画・省察など保育者として必要な知識と技術を習得していく。保育・福祉の専門的な知識・技能を習得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身につける。この科目は、保育原理、乳幼児保育と関連している。				
<b>到達目標</b>				
保育所保育指針における「保育の目標」「育みたい資質・能力」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と「保育の内容」の関連を理解し、各章のつながりを読み取り、保育の全体的な構造を説明できるようにすること。子どもの発達や生活を取り巻く社会的背景及び保育内容の歴史の変遷について調べ保育内容の基本的な考え方を習得していくこと。保育内容の基本的な考え方を、子どもの発達や実態に即した具体的な保育課程（計画・実践・観察・記録・評価・改善）につなげてグループワークで発表していくことを目標とする。				
<b>教育方法等</b>				
授業概要	映像や事例を通して、個人ワークやグループワークをとりいれる。他人の意見をどのように受けとめ、理解するか、さらにそれをどのように伝えていくかを意識しながら、授業を進める。アクティブ・ラーニングとして「子どもの発達や実態に即した保育内容を考えあう」。子どもの生活を取り巻く社会的背景、保育内容の歴史の変遷を学び、保育内容の基本的な考え方を理解する。保育内容を豊かなものにするための教材を調べ、発表し学び合う。			
注意点	学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。保育者の役割の一つに"子どもの模範となる"ことがあることから、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。			
評価方法	種別	割合	備考	
	試験・課題	20%	試験と課題を総合的に評価する	
	小テスト	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する	
	レポート	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する	
	成果発表 (口頭・実技)	30%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する	
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する	
<b>授業計画（1回～8回）</b>				
回	授業内容	各回の到達目標		
1回	保育内容はじめの一步	園生活をイメージし、幼稚園・保育所について理解する		
2回	保育所・幼稚園の一日	子どもの気持ちと保育者の動きを理解する		
3回	遊びや生活を通して学ぶこと	遊びや生活の中の学びについて理解する		
4回	保育内容の捉え方	保育所保育指針と幼稚園教育要領について理解する		
5回	事例「領域・保育内容」	5領域とその保育内容について理解する		
6回	事例「年齢・保育内容」	年齢による発達の違いとその保育内容について理解する		
7回	事例「子育て支援・保育内容」	子育て支援サービスについて理解する		
8回	遊びや文化財	集団遊び、伝承遊びの内容について理解する		
9回				
10回				
11回				
12回				
13回				
14回				
15回				